

令和5年6月子どもの姿

田んぼ遊び

地域の A さんの田んぼで田んぼ遊びをさせていただきました。
田んぼからは、にぎやかな子どもたちの歓声が聞こえてきました。



ドロドロ～



「ドロドロしてる」「冷たい～」
「足抜けにくいなあ」「気持ちいい」と感触を楽しみながら
一歩、また一歩と田んぼに入っていました。

初めは慎重な様子で歩いていた子どもたちでしたが、すぐに慣れて走り出しました。泥がビシャビシャ跳ね上がりますが、嬉しい笑顔一杯でした。



気持ちいい～



「あ、カエル！」土手の所でピョンピョン跳ねるカエルたちを追いかけてきました。
アマガエルとツチガエルをたくさん捕まえました。
幼稚園に連れて帰り一緒に遊んだり、年少組さんにもわけてあげました。
思わずカエルになって子どもたちもピョンピョン跳んでいました。

田植え

田んぼ遊びを楽しんだ地域の A さんの畑で、教育ボランティア“カナリア”さんにお手伝いいただき、田植えをしました。

A さんが、子どもたちが田んぼ遊びをする前、耕運機で土を耕し、子どもたちが田んぼ遊びした後の田んぼを、また、耕運機で耕してくださっていました。

また、毎年、子どもたちがお米の赤ちゃんを植えやすいよう、長いひもに等間隔に印をつけてくださっています。

先日の田んぼ遊びで泥んこになった子どもたちは、なんの抵抗もなく、田んぼに入っていく、とても上手にお米の赤ちゃんを植えることができました。



大切にそして丁寧に植えていきました。

今年もおいしいお米がたくさん実りますように！ おにぎりの会、楽しみにしようね。

田植えの応援に来たりす組さん、
A さんにカエルを捕まえてもらって
大喜び!!



カレーだ！ポテトだ！買い物だ！

5 月の子どもの姿でお知らせしたように、子どもたちはじゃがいもの収穫をし、『カレーとポテトパーティー』をすることにしました。『カレーとポテトパーティー』の日が近づいてきたある日、幼稚園のリーダー年長すみれ組の子どもたちは、買い物に出かけました。行先は、去年、スーパー“矢田南マルシゲ”の遊びをしたことから、もちろんマルシゲへ！

先生からもらった“かいものカード”をぶら下げ、年少・年中組の子どもたちに「頑張って行ってきてね」と見送られ出発しました。

みんなの期待を背負い、頑張ってマルシゲまで歩いて行きました。



カレールウはハウスさんから
いただきました



マルシゲでは、“かいものカード”と品物を見比べながら、お買い物。ちゃんと数も数えてかごに入れていきました。だんだん重たくなっていきますが、しっかり持ってくれているかご係さんでした。

コンソメの場所がなかなかわからなかったですが、ちゃんと品出ししている店長さんを見つけて尋ねることができました。店長さんもとても優しく教えてくださいました。

無事買い物ミッションをクリアして、今度はレジへ!お金もちゃんと払って、おつりとレシートももらいました。

持ってきた袋にみんな同じくらいずつ分けていれました。



帰りは、ニンジンや玉ねぎが重たくて、半分くらいまで帰ってくると「重い!」「手痛い!」と言い始めましたが、先生が「じゃ、ちょっと減らす?持っあげよう」と声をかけても「いい!自分で持つ!」と言って聞きませんでした。幼稚園に帰ってきた時には、随分お疲れモードでしたが、年少、年中の子どもに「お帰り」「ありがとう」と言ってもらくと、「しんどー」というのもちょっぴり我慢しているようでした。

招待状をつくろう!

『カレーとポテトパーティー』に校長先生と地域の A さんを招待しようということになりました。「カレーとポテトパーティーに来てください」と書かれた招待状には、いつどこに来てもらうのかもちゃんと書きました。表紙には、ジャガイモやタマネギ、ニンジン、カレーなどの絵を描き、素敵な招待状が完成!校長先生に届けにいくと、お客さんとして校長室に案内してもらい、少し緊張しながらも、招待状を渡すことができました。



いよいよ「カレーとポテトパーティーだ」!

前日は、リーダーのすみれ組が、パーティーがもっと楽しくなるように!と飾りつけをしてくれました。



パーティーの日は、朝からみんな大忙し。年長すみれ組はタマネギの皮むきと自分たちで掘ったジャガイモを洗いました。「目がしみる!」と言いながら頑張ってくれました。年中たんぼぼ組はジャガイモを、年少りす組はニンジン洗ってくれました。お料理の様子も職員室に見に行きました。



涙が出る～



野菜を切るのを見に来ました。



年少児も職員室まで自分たちで運びます

目がしみる～



カレールーを入れて混ぜます。



煮えたかな? ジャーン!



ポテも焼いて、いよいよ出来上がって来たよ。
ジュージューいい匂い!
油がぱちぱち。おいしそう!



カレーとポテが出来上がるとお弁当の容器に入れてもらいます。校長先生も来園!

全園児みんなで集まってカレーとポテを食べることができるなんて! とても素敵なおいしい時間でした。



自分たちで一生懸命掘ったジャガイモを使ったカレーとポテは、とてもおいしく、たくさんおかわりをしていました。

たくさんお仕事をしてくれて、お買い物もがんばったすみれ組のリーダーたちのおいしさは、格別だったと思います。

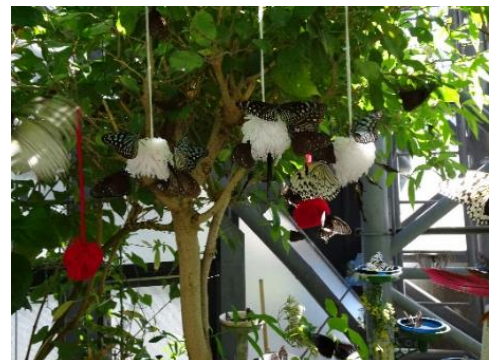
これからも楽しみながら! 体験を大切に食育を広げていきたいです。

チョウを呼び寄せよう!

自然豊かな矢田南幼稚園には、モンシロチョウ、モンキチョウ、アゲハチョウ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハなどのチョウがやって来ます。

そのチョウを捕まえたいと考えた子どもたち。小さなチョウは捕まえられるのですが、アゲハチョウなどは子どもたちのはるか上を飛び回り、なかなかつかまりません。

そこで考えたのが、このボンボンです。これは昨年度遠足で行った昆虫館のチョウの写真。たくさんのチョウがボンボンに集まっていたことを思い出しました。「なんでちょうちょが集まっているの?」と疑問をもった子どもたち。「ちょうちょは甘いものが好きだから甘いものが付いてそう」「お花の蜜ぬってるんちがう?」など考えを出し合い、お家でも考えてくることにしました。すると、お家の人に聞いたり、スマホやパソコンで調べたりしてきました。忘れないように紙に書いてきた子もいました。



そしてみんなの前で発表です。

- ・チョウは花の蜜や果物の汁を吸う
- ・はちみつが好き
- ・カルピスを吸う
- ・ガムシロップに水を混ぜたら飲みに来てくれるかもしれない。

Aちゃんがガムシロップを持って来てくれたので、これを使って仕掛けをつくることになりました。



ガムシロップと水を混ぜる



ちょうちょ来てくれるかな?とワクワクしながら毛系のボンボンに振りかける



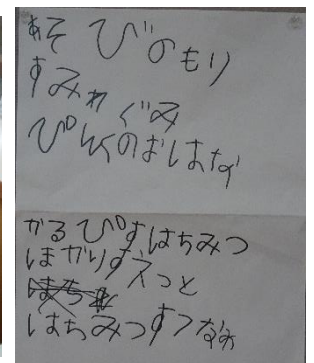
仕掛けが出来上がると、チョウが来るのを待ちます。ところが、咲いている花にチョウは来るのですが、仕掛けには来てくれません。どうすればいいのかな?みんなで考えます。

そして、..

昆虫館に聞いてみることにしました。子どもたちは、昆虫館に行く気満々でしたが、遠いので行くことができないと伝えると、「手紙書く?」「時間が

かかるけど大丈夫?」「じゃあ、電話で聞いたらいい」と電話で聞くことになりました。聞くことも話し合い、「忘れないようにメモしよう」と紙とペンを持って電話しました。

- ①毛系に何を付けているのか
- ②量はどのくらい?
- ③どこに仕掛けると来てくれるのか



昆虫館の人は、子どもに分かりやすいように優しく教えてくださいました。そして、忘れないようにちゃんとメモをとりました。

- ①カルピス、はちみつ、ポカリスエット
- ②カルピス、ポカリスエットは同じ量　　はちみつはドロドロになりすぎるので少な目
- ③チョウがよく飛んでいるところ、森の中

「やっぱりカルピス入った」「はちみつちょうちょ好きって調べたことと合ってた」と話す姿も見られ、**自分が予測したり調べたりしていたことと照らし合わせ、「やっぱりそうだ!」と納得する**ことができたようでした。この過程がとても大切だと感じています。

こうして再び仕掛けをつくってチャレンジです。

甘い匂いがする

混ぜてもカルピスの匂いがする

いい匂い~

もうちょっと上!

思い思いのところにぶら下げる!



ボンボンにたっぷり液をつけて
ちょっとだけ絞ります。



「ちょうちょがびっくりするから離れたところで見てください」と見ていましたが、来たのはミツバチだけでした。そこで、考えた子どもたち。自分たちでモンシロチョウを捕まえ、「**本当に吸うか試してみよう**」と仕掛けに引っ付けてみました。そとボンボンにのせてみると、とまってストローをだし飲み始めたのです。「すごい!ほんまに吸うやん!」と大感動!

次の日「ちょうちょとまってる!」と発見。見てみるとストローを伸ばして吸っていたのです。子どもたちが調べると、蛾のような色をしていましたがヒカゲチョウというチョウだとわかりました。子どもたちが来て欲しいと思っていたチョウとは違いましたが、自分たちの仕掛けにとまったことをとても喜んでいました。

それから毎日のようにヒカゲチョウが来ていましたが、ミツバチ、アシナガバチ、スズメバチまで来るようになってしまったのでいったんボンボンはお休み。

庭のノウゼンカズラが咲き始めると、クロアゲハやナガサキアゲハの姿も見られるようになりました。クロアゲハは図鑑で調べ、ナガサキアゲハは**去年の年長児がつくった図鑑を見ると載っていた**のでわかりました。**先輩のつくった図鑑が次の代に引き継がれていく素敵さ**を感じました。

ハチがおさまった頃、今度は濃い原液のカルピスを使い、ボンボンも自分たちでつくって仕掛けをつくりました。「ペットボトルのカルピスのボンボンと原液のカルピスのボンボンとどっちにとまるだろう?」など、**疑問をもちながら**、過ごしています。

ちょうちょが蜜
吸ってる



ヒカゲチョウ



ミツバチがいっぱい!